

児童館 だより

行事の詳しい内容は児童館にお問い合わせください。
市ホームページに児童館だよりを掲載しています。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のための大切なお願いとお知らせ

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・手洗い、手指の消毒、検温、受付用紙記入の後、遊んでください。
- ・かぜ症状の人、体調の悪い人は利用できません。
- ・休校中の、小・中学生・高校生の利用はできません。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず行事を中止する場合があります。

東児童館 ☎248-5203

開館時間／午前9時～11時30分
午後1時～4時30分
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

泉ヶ丘市民センター児童館 ☎248-3453 (泉ヶ丘市民センター代表)

開館時間／午前9時～11時30分
午後1時～4時30分
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

西児童館(ふれあい館内) ☎242-7008

開館時間／午前9時～11時30分
午後1時～4時30分
休館日／日曜日、祝日
ランチスペースは当分の間お休みします

年に一度の児童館合同イベント キラキラフェスタ

とき 11月28日(日)

ところ 泉ヶ丘市民センター児童館

対象 市在住の人 各回30人
内容 幼児から大人まで楽しめる、音楽コンサートと、ふれあい動物園を開催します。
午前の部 ヴァイオリンとピアノデュオ ORANGEコンサート
①午前10時～10時30分
②午前11時～11時30分
午後の部 ふれあい動物園
※雨天の場合は3月に延期予定
③午後1時30分～2時
④午後2時30分～3時

参加費 無料
申込期間 11月9日(火) 午後1時～
11月18日(木) 午後4時
申込方法 泉ヶ丘市民センター児童館・東児童館の窓口で、本人または家族が、申し込み用紙に記入してください。
※電話での申し込みはできません
※申し込み多数の場合は抽選となります

ミニ門松づくり

とき 12月26日(日) 午後1時30分～4時
対象 親子 先着5組程度
参加費 1つ300円
申込開始 12月5日(日) 午前10時～

絵手紙のクリスマスカード

とき 12月11日(土) 午前10時30分～11時30分
対象 幼児親子(年長以上)～小学生 先着10人
参加費 無料
申込開始 11月20日(土) 午前10時～

ドライブインシアターを楽しもう

とき

12月18日(土)
1部『ミニオンズ』午後5時30分～
2部『ボスベイビー』午後7時40分～

ところ ふれあい館

対象 市在住で18歳までの子どもを持つ家族
・1部2部とも、車両各25台程度
※多い場合は抽選となります

内容 ふれあい館の壁にうつる映画を車に乗ったまま家族で楽しみましょう。

参加費 無料

申込期間

11月19日(金) 午前9時～
12月3日(金) 午後5時まで

申込方法

下記の二次元コードを読み取り、専用申し込みフォームからお申し込みください。

※詳しくは、ホームページなどでお知らせします



ヴィーブル&コミュニティ情報

申し込み・問い合わせ先 ヴィーブル ☎248-5555

トレーニングルームは点検のため、11月30日(火)は休みとなります。

11月の市民講座 市民終活講座

皆さんは“終活”について考えたことがありますか。終活とは、これまでの生き方を見つめ直し、老後を力強く生き抜くための準備や活動のことです。人生最後の瞬間に後悔しないように、また、生きた証を残すために、自分の一生を問い直し、人生のゴールをどう迎えるか、どう準備していくのか、一緒に考えてみませんか。

皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

- ▶とき 11月19日(金) 午前10時15分～
受け付けは午前9時45分～
- ▶ところ ヴィーブル文化会館
- ▶参加費 無料
- ▶申込方法 生涯学習課窓口でお申し込みください。
※事前に申し込みができなかった人も当日会場での申し込みができます。
- ▶内容 市民終活講座
オープニング マジックショー 高野 和子さん
演題 終活入門～死ぬときに後悔することベスト3～
講師 糸山 公照さん(真宗大谷派光照寺 副住職)
※当日はマスクを着用し、筆記用具をお持ちください。

市生涯学習人材バンクを設置しました

市民の皆さんがお互いに学び合う生涯学習活動を支援し、豊かな地域社会をつくることを目的として“合志市生涯学習人材バンク”を設置しました。主催講座などでの学びを指導者として発揮したい人や豊富な知識・技能・技術などを有する人など、今まで学んだ知識や技能を活かしてみませんか。生涯学習活動に理解と熱意があり、学びたい人への支援ができる個人または団体が登録対象です。

登録については、下記の二次元コードまたはURLから『合志市生涯学習人材バンク設置運営要綱』をご確認ください。また、登録の申し込みはヴィーブル窓口にて受け付けます。

●問い合わせ先

市生涯学習人材バンク設置者
市教育委員会 生涯学習課
受託事業者 (株)くまもと健康支援研究所
☎080-4681-0302

URL <https://www.city.koshi.lg.jp/kiji00320955/index.html>



合志義塾をたずねて No.1

●問い合わせ 生涯学習課 生涯学習班 ☎248-5555

令和3年9月18日、熊本史談会で工藤四朗さんが『合志義塾の根底に流れる心』を発表しましたので内容を紹介します。

合志義塾は、教育勅語に感銘を受けた工藤左一・平田一十の若き青年教師によって、明治25年に、農民のための私塾として創設されました。昭和25年までの約58年間に6590人もの卒業生を輩出し、県内では他に例を見ない私塾でした。

平成26年に合志市で発行したマンガ『カタルパの樹』は、新島謙(同志社大学創設者)がアメリカから苗を持ち帰り、教え子の徳富蘇峰(大江義塾創設者)に受け継がれ、その苗を平田一十が譲り受けたという逸話からタイトルが決められました。工藤さんは、その時に開催されたシンポジウムや放送されたドラマに触発され、義塾の全体像を知りたくなり、平成29年に研究をはじめたそうです。

講演のなかで工藤さんは、「合志義塾創設の背景には、大江義塾の徳富蘇峰の影響も、もちろんあると思います

が、その他にもいくつかの要因が関係していると思います。江戸時代、工藤家が庄屋を務め、地域をまとめてきた家柄であったこと、一十の父・甘が西合志村村長・収入役であったことがあります。その他に、西本願寺の高僧、原口針水(山鹿)との交流や教育勅語の起草者である井上毅を輩出した木下緯村塾(菊池)の緯村との親戚関係も創設の背景として挙げられるのではないかと思います」と持論を展開していました。また、講演の最後には、「合志義塾の果たした役割は、道徳と経済観念を備えた人間力豊かな多くの人材を輩出しただけでなく、現在の熊本電鉄をはじめ、合生の耕地整理、良馬改良、信用組合(現農協の前身)、教化事業などがあり、本市の現在の基礎を築いたといっても過言ではないと思います。そのことを多くの方に知ってもらい、郷土を誇りに思ってもらえれば幸いです」と語りました。

工藤 四朗さん▶

昭和15年生まれ、黒松区出身。工藤家の縁戚として、幼い頃より合志義塾が身近にある環境で育つ。

